

図書館だより

NO. 165 2012年1月号
(2012年1月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち

エコなライフスタイルを目指して

廿日市市では家電エコポイントを活用して、市民の皆さまに広く活用して頂くため、環境に関する本を購入しました。環境に関するポスターと一緒に展示しています。これを機に、エコなライフスタイルを目指してみませんか？

廿日市市環境基本計画の基本理念に掲げる「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」の実現に向けた啓発活動の一環として、市内小中学校の児童・生徒から、廿日市市役所地域環境創造室が環境に関するポスターを募集しました。その最優秀賞を受賞した3作品を図書館内に展示します。

展示期間：1月5日（木）～1月29日（日）



今月の展示

<さくらびあ展示>『ピアノを楽しむ』

さくらびあ大ホールで2月18日（土）に開催される「清塚信也ピアノリサイタル」。「のだめカンタービレ」やNHK大河ドラマ「竜馬伝」の“竜馬伝紀行”で人気沸騰の「クラシック界の貴公子」がお贈りするトーク&コンサートです。コンサートにちなんでピアノに関する本を集めてみました。

<中央展示>『NHK大河ドラマ大河平清盛を応援します』

はつかいち市民図書館3館では、1月から始まるNHKの大河ドラマ「平清盛」を応援しています。清盛の人となりが見られる資料や、平家ゆかりの地観光ガイドを清盛関係のパンフレット等と一緒に展示しています。

<テーマ展示>『大活字図書・触って楽しむ本の展示』

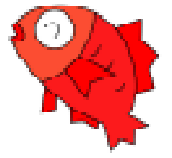
先月に引き続き、住民生活に光をそそぐ交付金事業で購入した「大活字図書」及び「触って楽しむ本」を展示しています。

<児童展示>『竜の話』

今年の干支は竜です。竜は想像上の動物で、物語や絵本にも数多く登場しています。竜が登場する物語や絵本を集めました。ぜひこの機会に読み比べをしてみてくださいはいかがでしょうか？

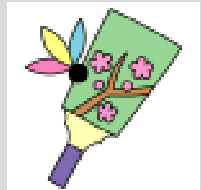
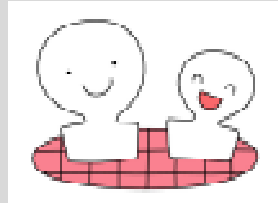


今月の新刊(一般書)



図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『読書のとびら』 岩波文庫編集部/編 岩波書店 B019.0/ト
- 『老いへの不安』 春日武彦/著 朝日新聞出版 143.7/カ
- 『山陰の神々』 山陰の神々刊行会 L175.9/サ
- 『やさしい古文書の読み方』 高尾善希/著 日本実業出版社 210.0/タ
- 『十字軍物語』3 塩野七生/著 新潮社 280.4/ソ
- 『語引六法』 山本修作/編著 晃洋書房 320.3/ヤ
- 『三省堂新六法2011』 永井憲一/編集代表 三省堂 320.9/サ
- 『介護のしくみ』 東田勉/編著 講談社 369.2/ヒ
- 『心にひびく日本のしきたり』 酒井信彦/監修 講談社 382.1/コ
- 『小児科の上手なかかり方がわかる本』 片岡正/監修 講談社 493.9/ソ
- 『100歳までガンにならない食べ方ボケない食べ方』 白沢卓二/著 青春出版社 498.5/ソ
- 『定年前に知らないと困るお金のきほん』 オレンジページ L591/テ
- 『今日もごちそうさまでした』 角田光代/著 アスペクト 596.0/カ
- 『日経業界地図2012年版』 日本経済新聞社/編 日本経済新聞出版社 602.1/ニ
- 『準備する力』 川島永嗣/著 角川書店 783.4/カ
- 『夢をかなえる。』 澤穂希/著 徳間書店 783.4/サ
- 『中国語で自己紹介ができる本』 金枝瑠璃/著 メディアファクトリー 827.8/カ
- 『前置詞がわかれば英語はすらすら書ける!』 石井隆之/著 PHP研究所 835.6/イ
- 『世界の絵本・児童文学図鑑』 ジュリア・エクルスシエア/編 柘風舎 909.3/エ
- 『もういちど生まれる』 朝井リョウ/著 幻冬舎 F/ア
- 『ヒア・カムズ・ザ・サン』 有川浩/著 新潮社 F/ア
- 『極北ラブソディ』 海堂尊/著 朝日新聞出版 F/カ
- 『ヒート』 堂場瞬一/著 実業之日本社 F/ト
- 『草原の風』下 宮城谷昌光/著 中央公論新社 F/ミ
- 『放蕩記』 村山由佳/著 集英社 F/ム
- 『ジェントルマン』 山田詠美/著 講談社 F/ヤ
- 『スウィート・ヒアアフター』 吉本ばなな/著 幻冬舎 F/ヨ



★ ヤングアダルト新刊情報 ★

ヤングアダルトって?

子どもから大人へ、成長していく時期にある12~18歳くらいの若者たちのことを表した言葉です。ヤングコーナーに入った本の新刊を毎月紹介します。

『パスタでたどるイタリア史』

池上俊一/著 岩波書店 383イ

皆さんはパスタは好きですか?

今では日本でもすっかりおなじみの定番料理となった“パスタ”。そのパスタの発祥の地であるイタリアの歴史を、おいしいパスタとからめて紹介しています。

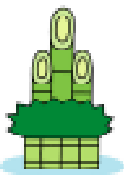
パスタがどのように生まれ、親しまれてきたのかを知るうちに、2000年以上にも及ぶイタリアの歴史が見えてきます。

『父さんの手紙はぜんぶおぼえた』

タミ・シエム=トヴ/著 岩波書店 929シ

第二次世界大戦中のオランダで、村医者の子に預けられた少女リーネケ。しかし、「リーネケ」という名前は彼女の本当の名前ではなかった…。

ユダヤ人であることを隠し、家族と離れ離れになって暮らすことになった「リーネケ」。そんな彼女を支えたのは、父親から届く秘密の絵手紙だった。多彩な絵手紙と共に語られる、ユダヤ人の少女の実話です。



新刊

こどものほん



『あさになったので まどをあけますよ』

荒井良二/著 偕成社 E/7

「あさになったので まどをあけますよ」。するとそこには、いつものように山や木や川があり、にぎやかなまちがあり、風がふいています。そんな毎日の何気ない情景を、詩的なことばと暖かい色調で描きます。東日本大震災の被災地を訪ねる旅を重ねた作者の思いが込められた一冊です。

『たったひとつのねがいごと』

バーバラ・マクリントック/作 福本友美子/訳 ほるぷ出版 E/7

猫の一家のお姉さん、モリーは風邪で寝込んでいるお母さんの代わりに、魚を買いに行きました。そこで妖精のおばあさんと出会い「今夜、あなたの魚から、願いが1つ叶う魔法の骨が見つかります」と告げられます。妹たちはモリーが何を願うのか知りたがり、あれこれ想像を膨らませます。背景まで丁寧に描かれた絵から、温もりが伝わってきます。

『うたごさん』

植垣歩子/著 佼成出版社 E/7

♪おはようおさらさん、おわんさん。うたごさんの歌声で台所の食器や道具たちも目を覚まし、一日が始まります。ところがある日、うたごさんは風邪をひいて寝込んでしまいます。心配になったみんなは、大好きなうたごさんのためにおかゆを作ることになりました。台所の仲間たちの表情や会話も楽しい絵本です。

『レンタルロボット』

滝井幸代/作 三木謙次/絵 学研 913/7

弟がほしかった小学4年の健太は、レンタルロボット店でヒミツの弟ロボットを借ります。家族も友達も魔法にかかって、弟がロボットだとは知りませんが、次第にお兄ちゃんだからと我慢することが増えていきます。そして「あいつは弟なんかじゃない。ロボットだ!」と思うようになり…。

小川未明文学賞第19回大賞受賞作品。

その他の新刊

『小学生はこれを読め!』「小学生はこれを読め!」編集委員会/編 北海道新聞社 019/7

『気をつけよう! 消費者トラブル①ケータイ編』秋山浩子/文 納田繁/絵 汐文社 365/7

『ABCのほん』堀内誠一/え くもん出版 E/林(株式会社ラポ教育センターより1968年7月に刊行された『Picture Cards』(堀内誠一・絵)の一部を再編集し、イラストに彩色を施したもの。)

ブルーノ・ムナーリの1945シリーズ ①『どうぶつうります』②『たんじょうびのおくりもの』

ブルーノ・ムナーリ/作 谷川俊太郎/訳 フレーベル館 E/ム

ミニブックトーク

「竜の話」

2012年は竜年です。竜は想像上の動物で、物語や絵本にも数多く登場しています。幼年童話の代表的な作品に、かわいそうな竜の子どもをたすける男の子エルマーが活躍する『エルマーのぼうけん』があります。多くの子どもたちに読み継がれているロングセラーです。世界的にも有名なファンタジー作品『ハリーポッター』や『ゲド戦記』にも竜は登場します。

竜が登場する民話や伝説は世界中に伝わっています。『竜の本』(ルース・マニング＝サンダース/著 西本鶏介/訳 ブッキング 908/リ)は、世界的な民話採集者の作者が選りすぐった竜のお話集です。この本にでてくる「アイルランド王の十三番目の息子」の竜は、王女をさらい、宝ものを蓄え、最後には王子に退治される西洋の民話の典型的な竜といえます。日本では、『古事記』に登場する「やまたのおろち」が竜の化身といわれています。娘をおろちにのまれてしまう老人を助けるために、スサノオノミコトがおろちを退治する話ですが、西洋の「竜」のお話とも共通点があります(『やまたのおろち』舟崎克彦/文 赤羽末吉/絵 あかね書房E/ア)。『ドラゴン飼う方育て方』(ジョン・トプセル/著 神戸万知/訳 原書房 388/ト)では、竜を手に入れるための条件、品種に関する基礎知識、飼うための心構えから飼育小屋の設備と備品をどのように整えたら良いのかまでが丁寧に紹介されています。

想像上の動物のなかで、竜ほど個性豊かでダイナミックなものはありません。だからこそ多くの物語に登場し、世界中に民話や伝説が伝わっているのでしょう。今月は竜が登場する物語や絵本を集めて展示しています。

竜が登場するお話を読み比べてみてはいかがでしょうか?

大活字図書、さわって楽しむ絵本が仲間に加わりました。

～住民生活に光をそそぐ交付金事業で購入した図書を展示しています～

展 示	期 間：平成 23 年 12 月 15 日 ～ 平成 24 年 1 月 29 日
	場 所：はつかいち市民図書館・大野図書館・さいき図書館

《大活字図書》 出版社により活字の大きさは違いますが、14～22ポイントの文字を使った本のことです。廿日市市内にある図書館3館には大活字コーナーを設置しています。

活字の大きさ (参 考)	10 ポイント (通常の本)	大活字本
	14 ポイント (大活字本)	大活字本
	22 ポイント (大活字本)	大活字本

《さわって楽しむ絵本》点字付き絵本はもちろん、さわってわかる図や絵・素材を使って構成している絵本です。子どもから大人まで、視聴覚の障がいをもった方も一緒に楽しめる工夫がされています。

* はつかいち市民図書館では、住民生活に光を注ぐ交付金を活用して誰でも楽しむことのできる資料を中心に整備しました。あわせてCD・DVDも新規購入しましたのでどうぞご利用ください。

* <3館合計の購入点数> * 図書 495点 * 絵本 100点 * 視聴覚資料 180点

1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 休館	3 休館	4 休館	5	6 ◎	7
8	9	10 休館	11	12	13	14 ☆
15	16 休館	17	18	19	20 ◎	21 ■
22	23 休館	24	25	26	27	28 ☆
29	30 休館	31 休館	1	2	3	4

◎ちいさいこのためのおはなし会
【対象】乳幼児
【時間】1回目 11時～
2回目 11時30分～
※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会
【対象】幼児～小学校低学年
【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会
【対象】幼児～
【時間】11時～



大野図書館が特別整理期間に入ります。大変ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。
大野図書館特別整理(休館)期間:平成24年2月9日(木)～16日(木)